



ワンコインクラブ

9月



ケイトウ (ヒユ科 ケイトウ属)

姿がニワトリのトサカに似ていることから「鶏頭」と呼ばれるようになりました。写真のケイトウは石化ケイトウといます。真直ぐ生長するはずが、横向きにくっついて広がって生長した状態を石化または帯化とよびます。花に見える部分は茎が変化したもので、実際の花はフリルの下にたくさんついていきます。

ダイアンサス

【ナデシコ科 ダイアンサス属】

ダイアンサス属はナデシコの仲間、日本をはじめ世界中で古くから観賞用として栽培されてきました。ハマナデシコや美女ナデシコなど様々な種類があります。今回飾るのは「ソネットリップ」という品種で、「ソネット」という名前は育種家の中曽根さんの名前からつけられたそうです。



パニカム (イネ科 パニカム属)

北アメリカ原産の1年草で、日本では全国に分布しています。今回はカラフルに染まったパニカムを飾ります。茎は細いですが、固くてしっかりとしており、大活躍する花材です。涼しい場所で乾燥させれば自然とドライフラワーになり、長く楽しめます。

テマリソウ (ナデシコ科 ナデシコ属)

テマリソウは美女ナデシコの園芸品種で、花弁や雄しべ、雌しべが緑色のガクのように変化し、マリモのような姿になったものです。カラフルな花は咲きませんが、正真正銘のお花です。もこもこで日持ちもよく、お花屋さんでよく使われています。